

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル
株式会社ルネサステクノロジ
問合せ窓口 E-mail:csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A162A/J	Rev.	第1版
題名	M16C/70 シリーズ、M16C/80 シリーズ、M32C/80 シリーズ シリアルインターフェイス (シリアル I/O) の クロック同期シリアル I/O モード使用上の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	M16C/70 グループ、M16C/80 グループ、 M32C/80 グループ、M32C/81 グループ、 M32C/82 グループ、M32C/83 グループ、 M32C/84 グループ、M32C/85 グループ、 M32C/86 グループ、M32C/87 グループ、 M32C/88 グループ	対象ロット等	関連資料		

1. 注意事項

シリアルインタフェース (シリアル I/O) の UART_i(注1)で、次の条件 (1) ~ (3) のすべてに当てはまる時、意図しないところで受信を開始する場合があります。

注1. $i = 0 \sim 4$ 、ただし $i = 0, 1$ (M16C/70)、 $i = 0 \sim 6$ (M32C/87)

(1) UiMR レジスタの SMD2 ~ SMD0 ビットを “001b” (クロック同期形シリアル I/O モード) に設定

(2) 次の a) または b) のどちらかの条件に当てはまる場合

a) UiMR レジスタの CKDIR ビットを “0” (内部クロック) に設定

b) CKDIR ビットを “1” (外部クロック) に設定しており、UiC0 レジスタの CRD ビットを “0”、かつ CRS ビットを “1” (RTS 機能を選択) に設定 (注2)

(3) UiC1 レジスタ、UCON レジスタまたは U56CON レジスタの UiRRM ビットを “1” (連続受信モード) に設定

UCON レジスタ：M16C/80 UART_i ($i = 0, 1$)

U56CON レジスタ：M32C/87 UART_i ($i = 5, 6$)

UiC1 レジスタ：上記以外の UART_i で使用

注2. 外部クロックを選択していても、 $\overline{\text{RTS}}$ 制御を使用しない場合は本現象は発生しません。

2. 対策

上記(1)(2)の条件で使用する場合、UiRRM ビットを “0” (連続受信モード禁止) にしてください。受信完了割り込みを使用し、各受信完了毎に UiTB レジスタにダミーデータを書き込んでください。